

矢崎澤 （抄） 評論家。明治二十九年一月一日新潟縣生れ、昭和二十一年八月九日没（一九六一年）。本名神藏若大郎。昭和六年慶應義塾大學卒。中央新聞社勤務、傍ら諸誌に評論を發表。十二年第一次人民戦線事件の檢舉。

著書 『技術文化史』（昭和十六年八月七日山雅房「科學叢書」）、
『轉形期文藝の初探考』（昭和日本文藝の展望）』（昭和十六年十一月二十五日大澤築地書店）、『芥川龍之介研究』（合著・大正文學研究會編、昭和十七年七月五日河出書房）、『二代の女性』（昭和十七年十月十日百華心人社。再刊・二十二年十月十五日日本出版株式會社）、
『近代日本の日本の形成―現代日本文學研究・一』（昭和十八年七月十五日鎌倉書房）、『志賀直哉研究』（合著・大正文學研究會編、昭和十九年八月一日河出書房）、『東京の一九一八ポルターシュー』（合著・新日本文學會編、昭和二十一年八月二十一日三興書林）、『民主主義文壇の進路』（合著・同、昭和二十二年六月五日長崎・新興藝術社）等。